

子育てサポート実践中!

くるみんマーク取得企業です



『株式会社image(イメージ)』

(鹿児島市下荒田1)

鹿児島市内で美容院3店舗を運営するイメージ(別府武彦社長:従業員18人)では、平成19年9月に従業員が出産したのを機に、育児休業や復職後の短時間勤務などを就業規則で制度化しました。従業員もお客様も女性が多い職場ながら、仕事と出産・育児が両立できにくい業界にあって、別府社長は「本人が希望すれば子育てしながら一生続けられる職場環境をつくりたい」と、出産を控えた当事者や従業員から意見や要望を聞いた上で導入しました。

導入のきっかけとなった山下真由美さんは19年に続き、23年4月に2人目を出産。現在、2人の子どもを預ける保育園に合わせて午後5時まで短時間勤務しています。「美容師仲間には出産を機にやむなく仕事を辞めた人もいます。私の場合は会社もスタッフも協力的で、仕事にも子育てにも頑張れます」と山下さん。別府社長は「利益を上げて納税し、一人でも多く雇用し、次代を担う子どもを産み育てやすい労働環境づくりを通して社会貢献したい」と語ります。同社では現在、女性従業員14人のうち1人が育児休業中です。



イキイキ 現場風景

明るい店内で和やかにインタビューに応じる別府武彦社長と山下真由美さん

用語解説

『GGI(Gender Gap Index)』

「ジェンダー・ギャップ指数」のことで、経済分野、教育分野、政治分野及び保健分野のデータから作成され、数値0が完全不平等、1が完全平等を意味しています。1に近い数値ほど男女の平等感が強いことを示します。日本は135カ国中101位で、人間開発の達成度では実績を上げているものの、政治分野及び経済分野における男女差が大きいため、低い順位となっています。

順位	国名	GGI値
1	アイスランド	0.8640
2	フィンランド	0.8451
3	ノルウェー	0.8403
4	スウェーデン	0.8159
5	アイルランド	0.7839
6	ニュージーランド	0.7805
101	日本	0.6530

『GII(Gender Inequality Index)』

「ジェンダー不平等指数」のことで、保健分野、エンパワーメント、労働市場の3つの側面から構成されており、国家の人間開発の達成が男女の不平等によってどの程度妨げられているかを明らかにするものです。値は、0が完全平等、1が完全不平等を意味しています。日本は145カ国中14位で、妊産婦死亡率などの指標が評価された結果、高い順位になったと考えられます。

順位	国名	GII値
1	スウェーデン	0.049
2	オランダ	0.052
3	デンマーク	0.060
4	スイス	0.067
5	フィンランド	0.075
6	ノルウェー	0.075
14	日本	0.123

編集後記

論文作成等で忙しい中、「museカフェ」に協力してくれた6人の学生の皆さん、今回インタビューをした女性研究者の方々に続き、次世代を担う皆さんを頼もしく感じました。これから活躍する場は変わるかもしれませんが、皆さんの今後のご活躍を応援しています。

今回の特集にあたり、お忙しい中ご協力いただきました研究者の皆さまと鹿児島大学男女共同参画推進センターに心から感謝申し上げます。

すてっぴ vol.36

発行:鹿児島市市民局市民部男女共同参画推進課  
〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目4-1 TEL099-813-0852  
制作:南日本新聞開発センター

表紙について

男女共同参画社会の実現へ向けて、社会に広がり始めている兆しと希望を、生命力溢れる青々とした大樹の前で両手を広げる男女のシルエットで表現しました。青い鳥『すてっぴさん』がからら(=わたしたち)を誘うように、羽ばたいていきます。

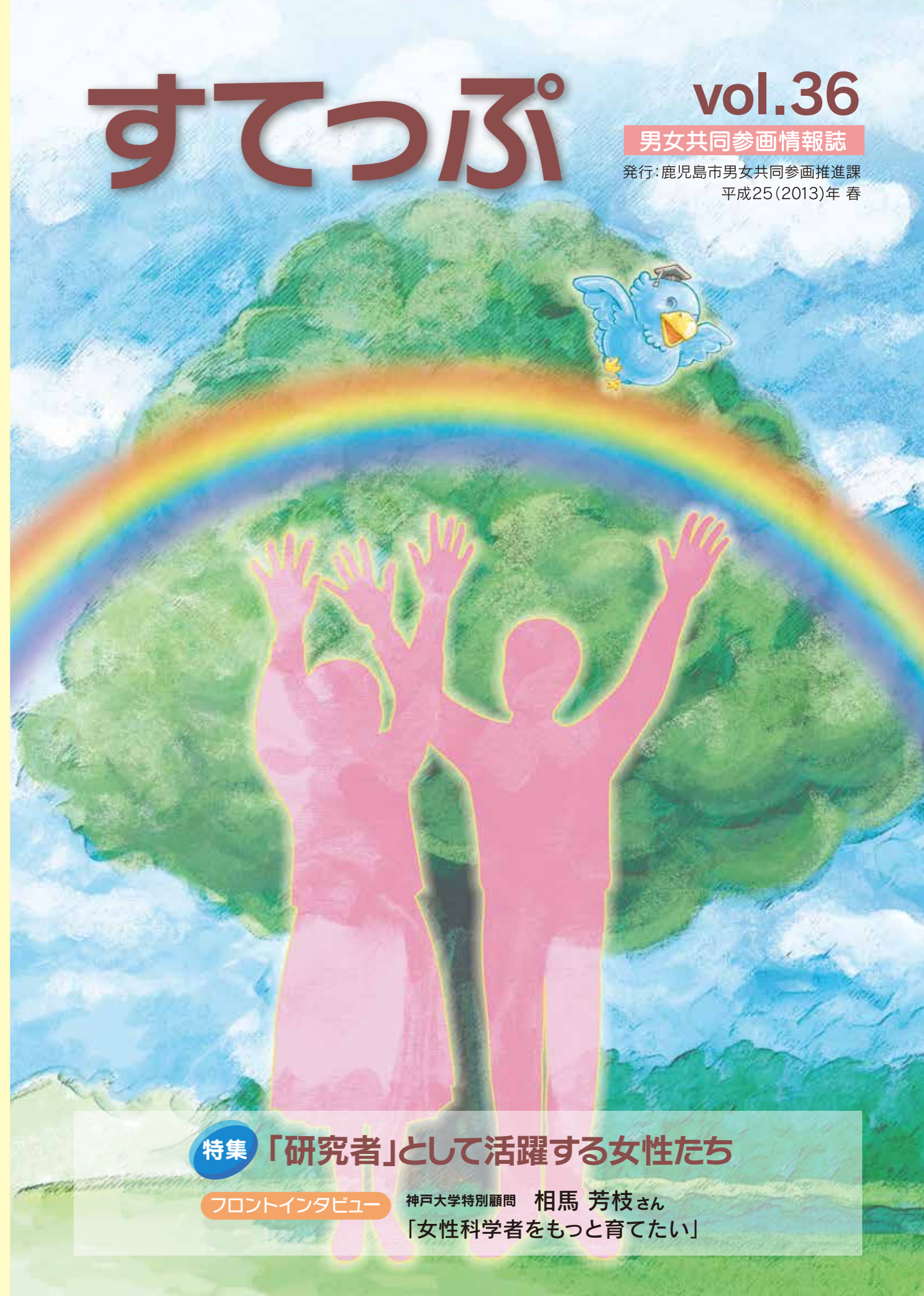
本冊子は、紙へのリサイクルに適した材料のみ用いて作成しています。

すてっぴ

vol.36

男女共同参画情報誌

発行:鹿児島市男女共同参画推進課  
平成25(2013)年 春



特集 「研究者」として活躍する女性たち

フロントインタビュー

神戸大学特別顧問 相馬 芳枝さん  
「女性科学者をもっと育てたい」